

校訓	真善美	令和5年度 学校だより	発行日	令和5年7月20日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心身を育てる	「荒中だより」 文月 第11号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【 臨時生徒総会「校則改定について」】7月18日(火)5校時 Zoom

臨時生徒総会のこの場を借りて、ひとつ報告があります。今朝、1時間目が始まって10分ほど経った頃、学校に1本の電話がありました。事務の吉岡さんが、対応してくださったのですが、「先生、うれしいお電話でした！」と報告くださり、私もうれしい気持ちになりました。

その電話は、あるご夫婦の奥様からのものでした。

昨日、夕方4時頃 JR 伊丹駅周辺で自転車に乗っていた主人が、転倒して怪我をした。中学2年生の男子3名が声をかけてくれて、擦り傷を発見した生徒が、もっていた絆創膏で手当てをしてくれた。その様子を見ていたまわりの大人たちが、頭を打っていたため、救急車を要請し、病院に運ばれたが、大事には至らずに済んだ。名前も、学校名も告げず居なくなってしまっていたけれど、まわりの人が、荒牧中学校の生徒だと教えてくれたので、学校に電話をさせてもらった。「夫は、頭を打っていましたが、異常は無かったことを生徒さんたちに伝えてほしい。」とのことでした。うれしいという気持ちと同時に、荒中の職員であること、校長であることに誇りをもちましたし、あなたたちのことを自慢に思いました。荒牧中学校の生徒には、『思いやりを行動にうつす勇気と行動力があること』このことは、当たり前のように当たり前ではありません。あなたたちを育ててくださっている荒牧という地域、ご家庭に心から感謝の意と敬意を感じます。人が人社会の中で生きていくためには、とても大切なことです。これからも大切にしてほしいと思います。

今日は、臨時生徒総会で校則の改定を提案があります。

めっきり夏らしい気候となり、この3連休は3日間とも良い天気恵ま

れましたが、猛暑が続き熱中症の危険から自分の命を守るための行動がとれていましたか？

小学校の時から言われている「早寝、早起き、朝ご飯」は、自分の命を守るための大切なキャッチフレーズだとつくづく感じました。

この3連休には、阪神総合体育大会がありました。前日の金曜日には、伊丹の宮ノ前にあるアワホックホールで、ジョイフルコンサートがあり本校のコーラス部のみなさんが活躍してくれました。また、美術部のみなさんの作品が、ロビーに展示され、優秀作品の表彰式もありました。

市内総体、阪神総体、コンサートなど舞台に立って頑張っている人たちを応援に来ている大勢の荒中生にもたくさん会いました。応援するという事で制服着用などいくつかの決まりがありましたが、阪神6市1町から集まった中学生の中で、服装も態度も大変良く、あいさつもはっきりできていました。このことは、舞台に立つ人たち、選手の人たちを尊重するからこそその心が、態度となったものです。これらの行動を、普通にできる荒牧中学校の生徒は、素晴らしいと思います。

本校の学校教育目標は、『自ら考え行動し、未来を創造できる生徒の育成』です。**未来を創造できる力とは自治力**です。生活している居場所がよりよい場所になるよう誰かが何とかしてくれるだろうではなく、一人ひとりが「自分事」として真剣にとらえて考え、行動することが重要です。また、この改定の提案は、前年度から引き継ぎ、今日までの期間、**綿密に企画・運営してくれた生徒会役員のみなさんと担当する先生方のたまもの**です。皆さん、一人ひとりが生徒会の会員ですから、よりよい学校生活を自分たちで創るためによく聴いて積極的に参加してください。

(校長あいさつより)

★TPO の大切さを軸に、①靴 ②靴下 ③髪型 ④肌着 ⑤式服 についての提案があり、決定事項は、本校 HP に掲載されています。